



**議員** 路面下の空洞に起因する陥没は人命に

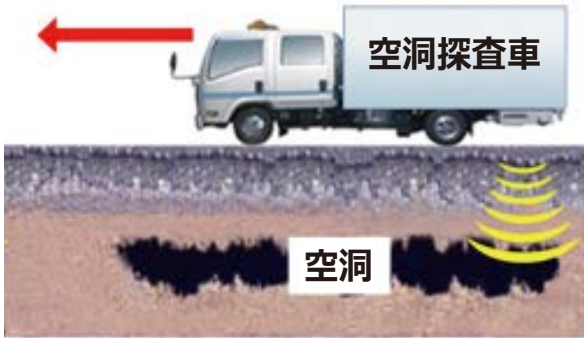
関わる重大な事故につながる危険性がある。空洞を発見し早期に対策を講じることは、事故を未然に防ぐとともに、防災力強化につながり重要である。本市の「地域防災計画」に道路陥没対策を明記すべき。

**路面下空洞調査**

**地域防災計画に道路陥没対策を明記すべき**

「早期に明記していく」

たけうち まさあき  
**竹内 正明 議員**



▶路面化空洞調査

**危機管理監** 関係部署と連携しながら早期に明記していく。

**道の駅を設置しては**

**議員** 地方創生の実現に有力な手段として「道の駅」の重要性が高まっている。東京外環道の三郷IC〜高谷JCTの開通に合わせて誕生した都市型の「道の駅いちかわ」のように、

「シテイセールスの拠点」としての活用など、本市で設置した場合の考え方は。

**政策秘書室長** 諸条件が整い「道の駅」が設置されれば、新たな切り口でのシテイセールスの展開が可能である。

**議員** 本市にしかない「地の利」を生かし、さまざまな可能性が期待できる。外環も開通し、オリンピック・パラリンピックも控えている、このときに合わせ、一歩前進の全庁的な議論を進めていただきたい。市長の考えは。

**市長** 議員の考えと同じく、外環道の開通は絶好のチャンスであり、新たな地域資源として戸田の魅力をより高めると考える。まずは私自身が「道の駅いちかわ」に伺い、現場を見て、今後は総合的な視点で研究していく。

一般質問

**通学路防犯対策**

**登下校時通学路における対応と対策は**

「今後も取り組み徹底を行っていく」

いしかわ きよあき  
**石川 清明 議員**



**議員** 本市の登下校時の通学路における現在の対応と今後の対策は。

を受け、各学校は随時安全点検を行っている。

**議員** 防犯ブザーの定期的な点検と実際に使用を想定した訓練を実施してはどうか。

**教育部長** 各小学校では、日常的に防犯ブザーを身に付けることを指導し、定期的にも実際にブザーを鳴らす点検を行っている。

**議員** 通学路の「こども110番の家」の確認と家主との交流を行うてはどうか。

**議員** 通学路の定期的な点検とホットスポットの対応は。  
**教育部長** 保護者などにより、通学路の危険な所について情報提供



▲防犯教室（笹目小学校）

**こども青少年部長** 「青少年を育てる地域の会」や学校、PTAにおいて、地域の地図や看板設置のリストを作成、学校では子供たちの下校指導時に、場所の確認や家主へのあいさつを実施している。

**議員** 登下校時の「見守り隊」を設置しては。

**教育部長** 市民の皆さまが、見守り隊として子どもたちの安全を見守っていただくことが大切と考える。

▼ 視察先の子ども食堂のメニュー看板と料理



子ども青少年部長 戸田市の15歳までの全ての子どもを対象とする児童手当の実績から推

子ども青少年部長 県と協力して「子どもの実態調査」を実施する。

子ども青少年部長 戸田市でも子ども食堂を広げてみてはどうか。

子ども青少年部長 県事業の周知や、問い合わせを県事業へつなぐとともに、市民活動やボランティア活動等に対する補助

子育て支援

子ども食堂を  
広げてみてはどうか

「でき得る支援や協力をしていく」

三輪なお子議員



議員 戸田市の子ども達の現状を伺う。

議員 計すると、子育て世代のおよそ1割強。議員 県新規事業と本市の取り組みは。

制度を案内するなど、でき得る支援や協力をしていきたい。

不育症検査費に  
助成を

議員 不育症とは2回以上の流産、死産、早期新生児死亡の既往がある場合と定義している。不育症検査費・治療費助成について伺う。

福祉部長

本市では、県の補助を受け不育症検査費助成事業を、平成31年度から開始できるよう準備をしている。治療費の助成については研究していく。

浸水対策は

議員 北戸田Jキッズステーション周辺の浸水対策はあるか。

都市整備部長

雨水排水管の整備を土地区画整理事業の進捗に合わせ行い、浸水被害の軽減を図っていききたい。

つぶやき 声なき声を聞く、市長のカラーにも合いますね



議員 他市町村では、公募や推薦などによらず、住民基本台帳からランダムに抽出された市民の参加による会議を行い、政策決定に役立てる取り組みが行わ

サイレントマジョリティー  
の声聞く市政を

「研究し、各部局に活用を呼びかける」

遠藤 英樹 議員

無作為抽出



▶自治基本条例フォーラム (平成29年度)

れている。①本市での実施状況と②今後の本格的導入の考えは。

市民生活部長

①自治基本条例制定に向けた「市民協働ワーキング」と、公共施設に関する意見交換会「まちのデザイン会」において実施②自治基本条例では、参加・参画の原則を掲げており、市民参加は重要不可欠。無作為抽出による会議は、その

ために有効な制度と考えるため、今後、実用性や効果を検証し、結果を踏まえて、各部局に活用を呼びかける。

議員

信頼ある市民団体が無作為抽出の会議の実施を行う場合、住民基本台帳からの抽出のみを協力することは可能か。

市民生活部長

内容によるが、協力は可能と考える。

議員

第五次総合振興計画策定の協働会議において、無作為抽出による会議を実施することはできないか。

総務部長

無作為抽出による市民意識調査を予定しているが、調査と併せて市民委員の募集を行うなど、一部取り入れることを検討する。

主な議案

総括質問

一般質問

委員会視察レポート

議会を知つてOCCO